

平成30年度奈良市子どもの豊かな未来応援プラン (奈良市子どもの貧困対策計画) 推進会議の意見の概要	
開催日時	平成31年2月5日(火) 午後1時30分から午後3時 まで
開催場所	奈良市役所 倉庫棟 1階 第6北会議室
意見等を求める内容等	・奈良市子どもの豊かな未来応援プラン(奈良市子どもの貧困対策計画) 行動計画の推進について
参加者	出席者 13人 ・ 事務局 5人
開催形態	公開 (傍聴人 2人)
担当課	子ども未来部 子育て相談課 ひとり親家庭支援係
<b>意見等の内容の取り纏め</b>	
事務局による概要説明の後、学識経験者及び有識者に意見等を求めた。 <意見を求めた内容及びそれらに対する意見等>	
1 計画について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の事業数が多く、子どもの貧困に直接的に関わらない事業も含まれている。直接子どもの貧困に関わらない事業も含めて全体として底上げを図るのか、貧困家庭の子どもに直接関係がある事業にのみ焦点を絞るのか、計画を推進するにあたりビジョンを明確に持った方が良い。</li> <li>・子どもの貧困に直接的には関係がない事業についても、今回「奈良市子どもの豊かな未来応援プラン(奈良市子どもの貧困対策計画)」の対象事業として位置づけたことは有意義なことである。</li> <li>・全事業を並列させるのではなく、子どもの貧困に直接的に関連する事業と予防的な役割を果たす事業とに大別し、事業の階層化を図ってはどうか。</li> </ul>	
2 評価について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての対象事業を評価するのではなく、子どもの貧困により関連性がある事業に絞り、事業の検証や議論をした方が効果的ではないか。</li> <li>・事業の成果指標については事業費や配置人員等ではなく、事業を実施することによりどのような成果を得られるかという視点で設定する必要がある。</li> <li>・他計画の事業評価との重複を避けるべきである。</li> </ul>	
3 事業の周知について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の広報を重視し、支援が必要な人に効果的なタイミングで情報を伝える工夫が必要である。</li> <li>・対象者への周知と併せて、支援する側が各事業についてどれだけの知識を持っているかで、気づきとつなぎの精度が変わってくる。</li> </ul>	

